

# サイト ライセンス 管理者ガイド

次の説明は、IBM® SPSS® Modeler 14.2 にサイト ライセンスを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、購入したライセンスの数までに制限された、複数のコンピュータに IBM SPSS Modeler をインストールできます。

## 始める前に

同梱されている（別紙に記載されている）認証コードが必要です。この認証コードを使用して、IBM® SPSS® Modeler のライセンスを取得できます。認証コードが見つからない場合は、営業担当者に連絡してください。

## ターミナル サービス

ターミナル サービスで IBM® SPSS® Modeler を使用するにはネットワーク ライセンスが必要です。ライセンスの移行方法については IBM Corp. までお問い合わせください。

## ローカル デスクトップ コンピュータへの製品のインストール

エンド ユーザーのコンピュータ（ローカル）に製品を完全にインストールするには、2 つの方法があります。各コンピュータに手動でインストールするか、Systems Management Server (SMS) のようなアプリケーションを使用して Windows が稼動しているコンピュータにインストールをプッシュできます。

### ローカルのデスクトップに手動でインストールするには

- ▶ **インストール メディアを利用可能にする**：製品の eAssembly をダウンロードし、共有ネットワーク ドライブにファイルを解凍します。物理インストール メディアがある場合、DVD のコピーを必要な部数作成するか、共有ネットワーク ドライブに置きます。
- ▶ **インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備する**。製品のインストール手順書のコピーを必要な部数作成します。インストール方法はダウンロード サイトから入手できます。またはインストール メディアがある場合、DVD の Documentation¥<language>¥Installation ディレクトリにあります。ライセンスの種類に対応する指示に従います。完全バージョンまたは省略バージョンの指示を配布できます。インストール後に、エンドユーザーは指示書をコピーする前に、指示書の初めにある空欄にこの情報を記入しておきます。

注：プロキシ サーバーによって認証が拒否される場合は、licenseactivator を使用してください。このコマンドを使用すると、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳細は、[p. 5 licenseactivator の使用](#) を参照してください。

- ▶ **インストールに必要なものをエンド ユーザーに配布する**：インストール DVD（またはネットワーク上での CD-ROM の場所）、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピュータに手動でインストールできるエンド ユーザーに必要なに応じて配布します。

## Windows が稼働しているローカルのデスクトップにプッシュするには

IBM® SPSS® Modeler のインストールは Microsoft Windows インストーラ (MSI) と互換性があるため、エンド ユーザーのコンピュータにインストールをプッシュできます。

## Windows が稼働しているコンピュータへのインストールのプッシュ

インストールのプッシュは、ユーザーの介入なしにソフトウェアをあらゆる人数のエンド ユーザーに配布する手法です。IBM® SPSS® Modeler の完全インストールをエンド ユーザーの Windows が稼働するデスクトップ コンピュータにプッシュできます。インストールのプッシュに使用するテクノロジーでは、MSI エンジン 3.0 以上がサポートされている必要があります。

## 以前のバージョンのアンインストール

以前のバージョンの IBM® SPSS® Modeler のインストール先と同じディレクトリにプッシュする場合は、古いバージョンをアンインストールする必要があります。バージョン 11.0 より前の IBM® SPSS® Modeler ではインストールのプッシュは利用できないため、手動でアンインストールする必要があります。

## プッシュ インストールのプロパティ

プッシュ インストールに使用できるプロパティには、次のようなものがあります。すべてのプロパティは大文字小文字を区別します。値に空白文字が含まれている場合は、その値を引用符で囲む必要があります。

テーブル 1-1  
プッシュ インストールのプロパティ

プロパティ	説明	有効値
INSTALLDIR	IBM® SPSS® Modeler のインストール先となるエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータ上のディレクトリ。このプロパティは省略可能です。指定がない場合、デフォルト値が使用されます。	C:\Program Files\IBM\SPSS\ModelerServer\14.2 などの有効なパス。
AUTHCODE	認証コードを入力します。このプロパティが指定された場合、製品は認証コードを使用して自動的に認証されます。このプロパティが指定されない場合、それぞれのエンドユーザーは手動で認証を行うためにライセンス認証ウィザードを実行する必要があります。	1 つ以上の有効な認証コード。複数の認証コードは、コロンで区切ります (例: authcode1:authcode2)。

プロパティ	説明	有効値
PROXY_USERID	プロキシのユーザー ID。 AUTHCODE パラメータを指定し、かつインターネットに接続するためにユーザー ID とパスワード◆◆◆を要求するプロキシをサイトで使用している場合は、このパラメータが必要です。このパラメータが機能するのは、コントロールパネルの [インターネット オプション] の [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定のプロキシ サーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。	有効なプロキシ ユーザー ID。
PROXY_PASSWORD	プロキシ ユーザーのパスワード。詳細は、PROXY_USERID の説明を参照してください。	プロキシ ユーザー ID に関連付けられたパスワード。
COMPANYNAME	会社の名前。	任意の文字列。

## MSI ファイル

.msi ファイルは ディレクトリにあります (DVD下記参照。)。具体的なフォルダおよびファイル名は次のとおりです。

製品	コピーするフォルダ	ファイル名
IBM® SPSS® Modeler	¥modeler¥NT¥	ClemClient.msi ClemClient.sms
IBM® SPSS® Modeler Solution Publisher Runtime	¥modelrun¥win32¥ または ¥modelrun¥win64¥	ClemCSP.msi ClemCSP.sms ClemCSP64.msi ClemCSP64.sms

## コマンドラインの例

製品のインストールのプッシュに使用できるコマンド ラインの例を次に示します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /i "ClemClient.msi" /qn /L*v logfile.txt
INSTALLDIR="C:\Program Files\IBM\SPSS\ModelerServer\14.2" AUTHCODE="3241a2314b23c4d5f6ea"
```

## SMS を使用したインストールのプッシュ

Systems Management Servers (SMS) を使用して IBM® SPSS® Modeler をプッシュする際の基本手順は次のとおりです。

- ▶ DVD の該当するディレクトリをネットワーク コンピュータ上のディレクトリにコピーします。 [テーブル p. 3](#) を参照してください。

- ▶ コピー先のディレクトリにある .sms ファイルを編集します。テキスト エディタを使用して、CommandLine の値を適切なプロパティを追加することで編集します。利用可能なプロパティのリストは、「プッシュ インストールのプロパティ」 ( p. 2 ) を参照してください。コマンド ラインで適切な MSI ファイルを指定してください。
- ▶ .sms ファイルからパッケージを作成し、そのパッケージをエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータに配布します。

## グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用したインストールのプッシュ

グループ ポリシーまたは関連するテクノロジーを使用して IBM® SPSS® Modeler をプッシュする際の基本手順は次のとおりです。

- ▶ DVD の 該当するディレクトリをネットワーク コンピュータ上のディレクトリにコピーします。 [テーブル p. 3](#) を参照してください。
- ▶ ORCA などのアプリケーションを使用して、コピーされたフォルダの下の適切な .msi ファイルのプロパティ テーブルを編集します。ORCA は、Windows 2003 Server SDK に含まれています (<http://www.microsoft.com/downloads> へ移動し、「SDK」で検索してください)。プロパティ テーブルに追加できるプロパティのリストは、「プッシュ インストールのプロパティ」 ( p. 2 ) を参照してください。適切な MSI ファイルを使用してください。
- ▶ 編集した .msi ファイルを使用してパッケージを作成し、そのパッケージをエンド ユーザーのデスクトップ コンピュータに配布します。

## アンインストールのプッシュ

注： アンインストール コマンドをプッシュすると、エンド ユーザーがカスタマイズした設定は失われます。特定のユーザーがカスタマイズした設定を必要とする場合は、それらのユーザーを配布から除外して、製品を手動でインストールするよう指示できます。

新しいバージョンの IBM® SPSS® Modeler のインストールをプッシュする場合、アンインストールを行う必要がある場合があります。このアンインストールは、次のコマンドをプッシュすることで自動的に行えます。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
MsiExec.exe /X{product_code} /qn /L*v logfile.txt
ALLUSERS=1 REMOVE="ALL"
```

特定の製品のコードは次のとおりです。

IBM® SPSS® Modeler	{55CF62B3-04D6-4BBC-9146-CAA1F4551200}
IBM® SPSS® Modeler Batch	{55CF62B3-04D6-4BBC-9146-CAA1F4551201}

このコマンドは、IBM SPSS Modeler 14.2 をアンインストールします。

## licenseactivator の使用

licenseactivator を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使わなくても、エンドユーザーのコンピュータを認証することができます。このコマンドライン ツールは、IBM® SPSS® Modeler をインストールしたディレクトリにあります。

licenseactivator を使用すると、製品ライセンスが有効になり、ディレクトリにログ ファイルが書き込まれます。ログ ファイル名は、licenseactivator\_<month>\_<day>\_<year>.log です。エラーが発生した場合は、ログ ファイルで詳細を確認できます。この情報は、IBM Corp. に問い合わせをする際にも役立ちます。

### 認証コードを使った licenseactivator の使用方法。

licenseactivator は、通常、購入した製品に付属している 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname]  
[PROXYPORT=proxy-port-number] [PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 認証コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、コンピュータがプロキシを設定している場合は設定が必要な場合があります。OS によって、必要なプロキシ設定が異なります。

**Windows** :プロキシ設定が機能するのは、コントロール パネルの [インターネット オプション] にある [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定の プロキシ サーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。コマンド ラインにプロキシ ホストおよびポートを入力しないでください。ただし、PROXYUSER および PROXYPASS に値を入力する必要があります。

**その他のオペレーティング システム**:その他のオペレーティング システムの場合、特定の プロキシ設定に応じて、コマンド ラインのすべてのプロキシ設定の入力が必要な場合があります。

### ライセンス コードを使った licenseactivator の使用方法。

あまり一般的ではありませんが、IBM Corp. からすでに「ライセンス」を受けている場合もあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- ライセンス コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- ライセンス コードを使用する場合、licenseactivator はインターネットに接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

## ライセンス ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール ディレクトリに lservrc という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンドユーザーの各コンピュータに対して保持しておくことができます。ライセンス ファイルは、それを作成したコンピュータ上でのみ機能しますが、そのコピーがあると製品のアンインストール

ツールまたは再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストールの後で、lservrc ファイルを製品のインストール ディレクトリにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

## サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、お客さまのサイトで、サイト ライセンス バージョンの SPSS Inc. の製品ごとに連絡先となる技術担当者を指定します。技術担当者は、組織のユーザーに製品およびオプションについて支援することが期待されます。IBM Corp. は、技術担当者の名前を記録し、IBM Corp. テクニカル サポートを介して技術的な支援を提供します。エンド ユーザーには、ソフトウェアに関する質問は指定した技術担当者に直接問い合わせるように通知してください。

IBM Corp. テクニカル サポートに連絡するには、<http://www.ibm.com/support> にアクセスしてケースを送信してください。IBM Corp. テクニカル サポートに登録していない場合は、登録が必要です。

IBM Corp. では、IBM Corp. 製品のトレーニング セミナーを定期的を開催しています。オンサイトでのトレーニング受講も可能です。セミナー、ソフトウェア、出版物の詳細は、<http://www.ibm.com/software/analytics/spss/support/techsupport.html> を参照してください。